

第24回

十勝川中流部川づくり報告会

令和6年10月5日

十勝川中流部市民協働会議

令和6年度の活動報告

－活動報告－

- ① 相生中島地区
- ② 帯広工業高校
- ③ 帯広農業高校
- ④ ウツベツ川
- ⑤ その他活動

①相生中島地区 活動3回

No	場所	日付	内容
1	相生中島地区 上流湿地・ワンド	R6. 4. 26	偽自動撮影カメラ設置
2	相生中島地区上流湿地	R6. 5. 14~17	ヤナギ幼木刈取り
3	相生中島地区上流湿地	R6. 6. 7, 6. 18	風倒木処理

十勝川相生中島地区上流湿地・ワンド 偽自動撮影カメラ設置

日 時	令和6年4月26日(金)
場 所	十勝川相生中島地区上流湿地・ワンド
目 的	相生中島地区上流湿地とワンドの不法投棄抑制のため。
内 容	相生中島地区上流湿地・ワンドに偽の自動撮影カメラ（自動撮影カメラの画像をプリントしてラミネートしたもの）を設置しました。



設置状況



設置状況



設置状況

十勝川相生中島地区上流湿地のヤナギ幼木刈取り

日 時	令和6年5月14日(火)～5月17日(金)
場 所	十勝川相生中島地区上流湿地
目 的	周辺草地や堆積土砂に自生するヤナギ類について、再樹林化抑制・防止、湿地環境維持などのため。
内 容	相生中島地区上流湿地は、十勝川の流下断面確保と再樹林化防止を目的に、平成24～25年度に掘削したことにより形成されました。平成28年8月の台風によって水域の大半が土砂に覆われ、翌年より重機を使用して堆積土砂を撤去し、水域の復元を行う活動を令和3年度まで行いました。 相生中島地区上流湿地の水際に生育していたヤナギ幼木除去の活動は今回で6回目となります。



ヤナギ幼木刈取り状況

相生中島地区上流湿地ヤナギ幼木刈取りの作業前後状況



中州下流側除去前



中州下流側除去後



上流側除去前



上流側除去後

十勝川相生中島地区上流湿地 風倒木処理

日 時	令和6年6月7日(金)、6月18日(火)
場 所	十勝川相生中島地区上流湿地
目 的	相生中島地区上流湿地上流のアクセス路の整備のため。
内 容	相生中島地区上流湿地の上流で風倒木（ドロヤナギ）の処理を行いました。



風倒木



風倒木処理前



風倒木処理後



風倒木処理状況

②帯広工業高校 活動6回

No	場所	日付	学年	内容
1	帯広工業高校他	R6. 6. 4	1年生	札内川における環境学習
2	相生中島地区ワンド	R6. 9. 3		横断測量実習
3		R6. 6. 20	2年生	水生動物調査
4	十勝大橋 音更川合流点下流	R6. 9. 19		ヤナギ生育モニタリング
5	帯広工業高校	R6. 7. 1	3年生	地域防災授業
6	帯広工業高校他	R6. 9. 2		水文観測講習会

帯広工業高校1年生を対象にした札内川における環境学習

日 時	令和6年6月4日（火） 8：30～15：20
場 所	現地見学：札内川ダム 座 学：帯広工業高校 2Fパソコン室
内 容	平成27年度から実施・継続してきた活動です。まず始めに札内川ダムの見学を行い、その後、札内川の自然再生モニタリングの目的、相生ワンドの測量箇所についての座学を行いました。
参加者	帯広工業高校1年生 27名 引率 3名 帯広開発建設部 7名 十勝川中流部市民協働会議 7名



事務局黒井より行程説明

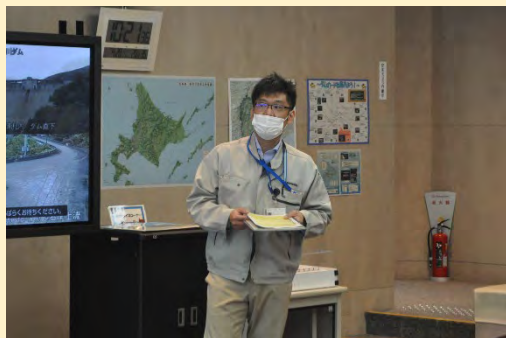


授業風景



授業風景

座 学



札内川自然再生事業について
(帯広開発建設部 札内川ダム管理支所長)



札内川ダムに関するDVD鑑賞



相生ワンドの測量実習に向けて
(事務局:橋本)

現地見学



札内川ダム堤体に関する説明
(帯広開発建設部 札内川ダム管理支所員)



札内川ダム監査路見学



札内川ダムで記念撮影

帯広工業高校1年生 相生中島地区ワンドの横断測量実習

日 時	令和6年9月3日（火） 8：45～15：20
場 所	相生中島地区ワンド（十勝川と札内川の合流点付近）
内 容	河川横断測量を実施する活動は札内川懇談会が平成27年度から行ってきました。前年度に引き続き相生中島地区ワンドで実施しました。なお、当日は最下流部（1班）の測線は札内川の水位上昇により測量が困難なため、後日事務局で行いました。 横断測量の結果とりまとめの座学を11月5日（火）の午後から帯広工業高校で実施する予定です。
参加者	帯広工業高校1年生 27名 教員 4名 十勝川中流部市民協働会議 11名



事務局橋本より測量の説明



事務局室瀬よりハチ対策について



生徒からの挨拶



横断測量箇所



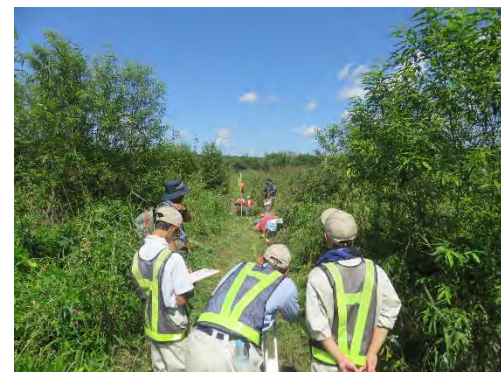
2班 作業風景



3班 作業風景



4班 作業風景



5班 作業風景

帯広工業高校2年生 水生動物調査

日 時	令和6年6月20日（木） 12：30～15：20
場 所	相生中島地区ワンド（十勝川と札内川の合流点付近）
内 容	令和4年5月に整備を行った相生中島地区ワンドに生息している水生動物を把握するため、帯広工業高校の生徒と協働で調査を行いました。
参加者	帯広工業高校 36名 教員 6名 帯広開発建設部 帯広河川事務所 5名 株式会社 福田水文センター 4名 十勝川中流部市民協働会議 14名



説明を受ける様子

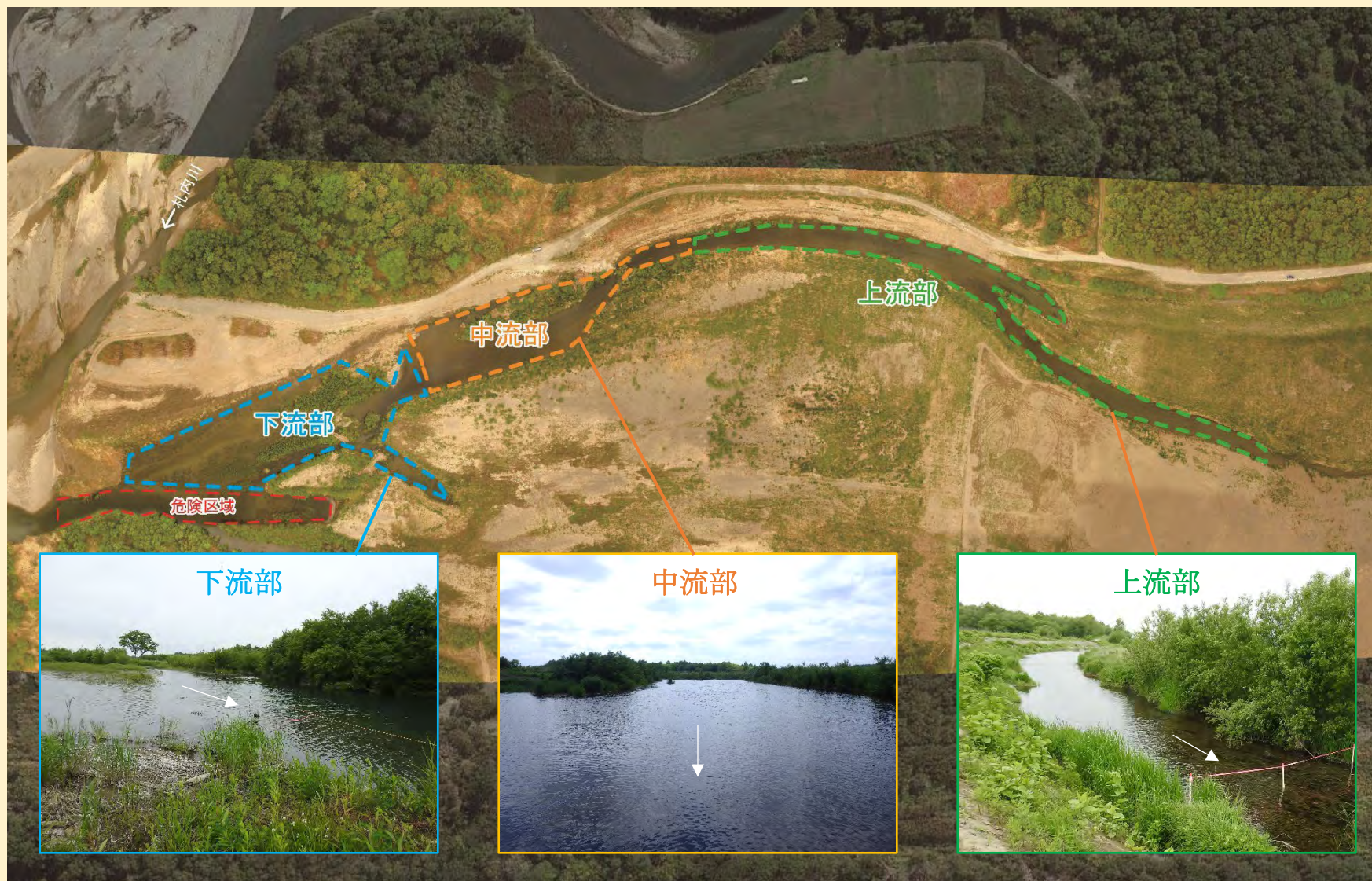


胴長に着替える様子



ライフジャケット着用の様子

現地調査範囲（上流部・中流部・下流部）



調査状況

調査の様子

1班
下流部



2班
中流部



3班
上流部



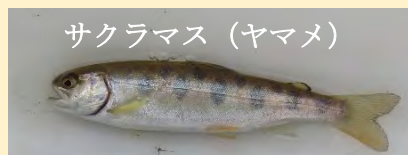
観察の様子



魚 類

調査日：令和6年6月20日

科名	種名	1班：下流部 水温13.0℃		2班：中流部 水温14.0℃		3班：上流部 水温9.0℃		合計	
		個体数	総湿重量(g)	個体数	総湿重量(g)	個体数	総湿重量(g)	個体数	総湿重量(g)
コイ	フナ属の一種	0	0.0	1	5.0	2	19.0	3	24.0
コイ	ウグイ属の一種	72	35.1	72	36.0	30	32.0	174	103.1
フクドジョウ	フクドジョウ	1	4.1	2	10.0	3	25.0	6	39.1
サケ	サクラマス（ヤマメ）	0	0.0	0	0.0	7	36.0	7	36.0
トゲウオ	イトヨ属の一種	4	11.5	24	26.0	22	64.0	50	101.5
トゲウオ	トミヨ属淡水型	26	6.3	4	4.0	2	3.0	32	13.3
カジカ	ハナカジカ	0	0.0	1	4.0	4	41.0	5	45.0
合計		103	57.0	104	85.0	70	220.0	277	362.0



水生動物

科名	種名	1班：下流部 水温13.0℃	2班：中流部 水温14.0℃	3班：上流部 水温9.0℃	合計	備考
モノアラガイ	モノアラガイ	3	1	3	7	
ザリガニ	ウチダザリガニ	0	1	0	1	
チラカゲロウ	チラカゲロウ	1	0	0	1	
ミズムシ（昆）	ミズムシ（昆）	1	0	0	1	
ゲンゴロウ	チャイロシマチビゲンゴロウ	2	0	0	2	
合計		7	2	3	12	

帯広工業高校2年生 ヤナギ生育モニタリング

日 時	令和6年9月19日（木） 12：30～15：20
場 所	十勝大橋音更川合流点下流（十勝川左岸KP55.4付近）
内 容	再樹林化防止や草地形成を目的として、音更川合流点下流の河畔林伐採直後にクサヨシ播種を行った箇所を対象に、帯広工業高校2年生とヤナギ生育モニタリングを行いました（河畔林伐採及びクサヨシ播種は令和3年度に実施）。 クサヨシ播種区画（4区画）及び対照区（未播種区）の方形区調査を行い、樹種、樹高、生育本数を記録しました。 【2021年12月の播種概要】 ・播種面積：13,200m² ・1区画：50×66m=3,300m²→4区画 区画1：クサヨシ1.023kg(0.31g/1m²) + ピートモス924L(28L/100m²) 区画2：クサヨシ1.023kg + ピートモス924L + 化学肥料33kg(1kg/100m²) 区画3：クサヨシ1.023kg + ピートモス924L + 化学肥料83kg(2.5kg/100m²) 区画4：クサヨシ1.023kg + ピートモス924L + 化学肥料165kg(5kg/100m²)
参加者	帯広工業高校 36名 教員 2名 帯広開発建設部 帯広河川事務所 3名 十勝川中流部市民協働会議 11名

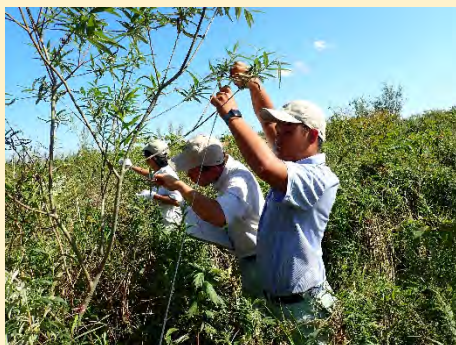
調査図面



現地作業状況



方形区の説明を受けている様子



ヤナギの樹高を測っている様子



ヤナギの種類を調べている様子

調査結果

方形区：5×5m→25㎡

班名	区画	方形区No.	ヤナギ生育本数	区画別平均本数	推定生育本数 100㎡	推定生育本数 3,300㎡
1班	4	1	0	0.0	0.0	0.0
		2	0			
		3	0			
		4	0			
		5	0			
		6	0			
		7	0			
2班	3	8	0	3.3	13.1	433.7
		9	0			
		10	23			
		11	0			
		12	0			
		13	0			
		14	0			
3班	2	15	1	0.1	0.6	18.9
		16	0			
		17	0			
		18	0			
		19	0			
		20	0			
		21	0			
4班	1	22	1	0.1	0.6	18.9
		23	0			
		24	0			
		25	0			
		26	0			
		27	0			
		28	0			
5班	対照区	29	32	17.3	69.0	2277.0
		30	6			
		31	1			
		32	7			
		33	21			
		34	11			
		35	32			
		36	28			

帯広工業高校3年生 防災授業

日 時	令和6年7月1日（月） 12：15～15：20
場 所	帯広工業高校 2Fパソコン室
内 容	平成28年から環境土木科3年生を対象に、防災をテーマにした座学を行っています。帯広市役所、帯広建設管理部、帯広開発建設部から帯広の防災体制、北海道の管理河川と防災、河川防災について説明していただきました。
参加者	帯広工業高校 39名 帯広市役所 総務部危機対策室危機対策課 1名 帯広建設管理部 治水課 1名 帯広開発建設部 治水課 1名 十勝川中流部市民協働会議 1名



授業風景



授業風景



授業風景

講義内容について



講義1: 帯広の防災体制について

(帯広市役所 総務部危機対策室危機対策課: 上川氏)

- ・日本で起きた自然災害の被害状況、「自助・共助・公助」の説明や帯広市の備えについて説明をしていただきました。



講義2: 北海道管理河川と防災について

(帯広建設管理部 治水課: 柳原氏)

- ・平成28年の台風による被害状況と復旧状況、「減災」について説明をしていただきました。



講義3: 河川防災について

(帯広開発建設部 治水課: 小泉氏)

- ・北海道開発局の仕事や洪水とはん濫の種類や街を守る施設について説明していただきました。

帯広工業高校3年生 水文観測講習会

日 時	令和6年9月2日（月） 8：30～15：20
場 所	実技実習：札内川 札内清柳大橋左岸上流 座 学：帯広工業高校 2Fパソコン室
内 容	防災に関する知識を高めるために行っている活動も今年度4回目となります。今回も、(株)北開水工コンサルタント様のご協力を得て、水理学について現地踏査（流量観測）、水理計算（流量計算）を行いました。当日は、河川の増水により低水流量観測は見学のみとし、横断測量は中止としました。
参加者	帯広工業高校 39名 帯広開発建設部 治水課 1名 （株）北開水工コンサルタント 10名 十勝川中流部市民協働会議 3名



1. 流量観測実施に当たって

水文観測からデータを収集し防災情報などに活用している帯広開発建設部治水課の方から挨拶がありました。また、調査観測を行っている(株)北開水エコンサルタント様から流量観測の事前説明として観測の目的や実技実習に必要な機材類、作業方法、流量計算について説明していただきました。



帯広開発建設部 治水課
大串治水専門官の挨拶



流量観測の説明
(株)北開水エコンサルタント



授業風景

2. 低水流量観測実技見学

低水流量観測として流速計を使った流量観測を見学しました。



低水流量観測の説明



実技見学状況

3. 高水流量観測実技実習

高水流量観測として浮子を使った流量観測を行いました。



高水流量観測の説明



実習状況



実習状況

4. 水文観測及び流量計算について

実際に行われている水文観測の紹介や目的、利活用方法について説明がありました。その後、流量計算を行いました。



授業風景



流量計算の指導状況
(株)北開水エコンサルタント

③帯広農業高校 活動1回

No	場所	日付	内容
1	相生中島地区上流湿地	R6. 6. 22	夏期魚類調査

帯広農業高校との相生中島上流湿地での魚類調査（夏期）

日 時	令和6年6月22日（土）9：00～12：00
場 所	相生中島地区上流湿地
目 的	例年継続して実施してきた魚類調査を秋期に行うにあたり、今回は湿地の重要性や活動の意義などについて高校生に理解を深めてもらうことを目的に実施しました。
内 容	生物調査 1班：魚類・水生昆虫調査（水域内の魚類・水生昆虫の採取及び観察） 2班：トンボ類調査（飛行又は葉等に止まっているトンボ類の採取及び観察） 3班：植物観察（湿地特有の植物の観察）
参加者	帯広農業高校 農業土木工学科 16名 帯広開発建設部 帯広河川事務所 4名 株式会社 福田水文センター 4名 十勝川中流部市民協働会議 15名

実施状況



魚類・水生昆虫調査



トンボ類調査



植物観察



魚類・水生昆虫観察



トンボ類観察



植物観察

調査及び観察で確認された動植物 ※赤字は重要種

魚類・水生昆虫調査

魚 類

科名	種名
コイ	ウグイ属の一種
	モツゴ
ドジョウ	ドジョウ又はキタドジョウ
フクドジョウ	エゾホトケドジョウ
トゲウオ	イトヨ
	トミヨ属の一種
ハゼ	ジュズカケハゼ

水生昆虫

科名	種名
モノアラガイ	モノアラガイ
コオイムシ	オオコオイムシ
タイコウチ	ミズカマキリ
	ヒメミズカマキリ
ユスリカ	ユスリカ科の一種
ゲンゴロウ	ゲンゴロウ（幼虫・成虫）
イトトンボ	イトトンボ科の一種（幼虫）
ヤンマ	ルリボシヤンマ（幼虫）
トンボ	トンボ科の一種（幼虫）

トンボ類調査

科名	種名
イトトンボ	キタイトンボ
	エゾイトトンボ
	マンシュウイトトンボ
	クロイトトンボ
ヤンマ	ギンヤンマ
トンボ	ヨツボシトンボ
	シオカラトンボ

植物観察

科名	種名
オモダカ	サジオモダカ
ヒルムシロ	ホソバミズヒキモ
ガマ	ガマ
カヤツリグサ	カヤツリグサ
	フトイ
	アブラガヤ
イネ	クサヨシ
	ヨシ
ケシ	クサノオウ
マメ	ムラサキツメクサ
	シロツメクサ
アサ	カラハナソウ
ヤナギ	ケシヨウヤナギ
	イヌコリヤナギ
キョウチクトウ	ガガイモ
シソ	カキドオシ
キク	セイヨウノコギリソウ
	オオヨモギ
	ヤネタビラコ
	ヒメジョオン
	コシカギク
セリ	ミツバ
	セリ

④ウツベツ川 活動2回

No	場所	日付	内容
1	ウツベツ川	R6. 6. 17	パネル付け替え
2	ウツベツ川	R6. 9. 11	帯広厚生病院どんぐり保育所 水生動物観察会

ウツベツ川パネル付け替え

日 時 令和6年6月17日（月）

内 容 令和2年10月にウツベツ川の管理道路沿いのフェンスにどんぐり保育所や緩和ケア病棟の患者さんが散策や歩行訓練を行う際の目安となるパネルを設置しました。パネルの経年劣化により写真や文字が見づらくなってきたため、新しく作成し付け替え作業を行いました。この活動は石狩川振興財団の助成を受けています。



旧パネル



新パネル



付け替え作業状況



どんぐり保育所の子供たち

帯広厚生病院どんぐり保育所水生動物観察会

日 時	令和6年9月11日（水） 9：30～11：00
場 所	ウツベツ川左岸親水護岸箇所（帯広厚生病院沿い）
参加者	・ 帯広厚生病院 どんぐり保育所 園児 20名、大人 5名 ・ 運営人員（計15名） 十勝総合振興局帯広建設管理部 4名 十勝川中流部市民協働会議 7名
イベント 内容	魚類や水生動物の観察会
主催	十勝川中流部市民協働会議
協力	十勝総合振興局帯広建設管理部



採取方法実演



魚獲り体験



水生動物観察

⑤その他 活動4回

No	場所	日付	内容
1	光南水辺の楽校	R6. 6. 11	実のなる木付近の除草作業
2	光南水辺の楽校	R6. 7. 19	川で遊ぼう 札内川・光南地区水辺の楽校
3	相生中島地区ワンド	R6. 9. 14	小中学校教職員を対象とした 水生動物観察会に参加
4	石川県白山市	R6. 9. 28-9. 29	第16回 いい川・いい川づくりワークショップ

光南地区 水辺の楽校「実のなる木」周辺の除草

日 時 令和6年6月11日（火）

内 容 光南地区水辺の楽校「実のなる木」の植樹は、平成29年度～令和2年度に植樹会を行い、あじさい保育園の園児や地域の方々の散策の場として利用されています。

この活動は、水辺の楽校が健全に活用されることを願い、散策ルートと植樹した木々の周りの除草を行ったものです。



①



除草前



除草後

②

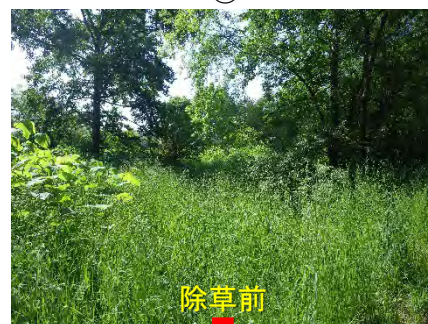


除草前



除草後

③



除草前



除草後



除草後



除草作業状況

川で遊ぼう！ 札内川・光南地区 水辺の楽校

日 時	令和6年7月19日（金） 9：30～12：00
場 所	光南水辺の楽校（札内川）
参加者	・ あじさい保育園 園児 70名程度、保育士 10名 ・ 運営人員（計22名） 帯広開発建設部 帯広河川事務所 8名 十勝川河川協力団体連合 14名 （内 十勝川中流部市民協働会議 10名）
イベント 内容	水生動物等の観察会
主催	あじさい保育園、帯広NP028サポートセンター、NPO法人十勝多自然ネット、 十勝川中流部市民協働会議、帯広開発建設部帯広河川事務所



記念撮影



水生動物を捕獲している様子



水生動物を観察している様子

小中学校教職員を対象とした水生動物観察会に参加

日 時	令和6年9月14日（土）
場 所	十勝川相生中島地区ワンド
目 的	水生動物の採集方法、魚類や水生昆虫に関する知識を得る機会を設けることで、教職員が生徒を指導する際の一助とするため。
内 容	十勝川中流部における河川を活用した学習活動として、十勝管内の小中学校教職員を対象とした水生動物観察会（帯広河川事務所主催）の運営補助として、当箇所を活動範囲とする十勝川中流部市民協働会議が協力しました。



作業状況説明



水生動物を観察している様子
（写真左：講師 倉西良一）



水生動物を捕獲している様子
（写真右：事務局 橋本）

第16回 いい川・いい川づくりワークショップ in 白山手取川

日 時	令和6年9月28日（土）10：30～18：00、9月29日（日）9：00～15：30
場 所	金城大学 笠間キャンパス（白山市笠間町1200番地）
内 容	7月7日の川の日記念行事として始まり、今回で16回目（川の日ワークショップからの通算では26回目）となります。全国のいい川づくりを行っている個人や団体が日頃の活動を発表して、“より良い いい川づくり”について全国規模で共有できる場となります。 今年は、全国から28団体が参加し、十勝からは2団体が参加し、<u>当会は「入選」</u>しました。
9月28日	開会式 → 全体発表 → テーブル選考 → 全体集会（交流懇親会あり）
9月29日	復活選考 → 全体選考（一次） → 全体選考（二次） → 公開討論会 → 表彰式 → 閉会



開会式



会場の様子

入選「若手技術者育成賞～人工湿地に技術の継承が花開く～」

ワークショップの様子

全体発表
(1日目)



全体選考
(2日目)



テーブル選考
(1日目)



表彰式
(2日目)



投票
(1日目)



発表パネル

